

M t . 石井スポーツカップ

第36回雫石ジュニアアルペンスキー大会 TCM資料

1. 会場・コース・種目

雫石スキー場、ジョイフルコース、GS/SLコンビ種目・SL種目。

全組2本レースとする。（失格者を除く完走者全員）

※コンビについて、DF、DQの場合もオープン参加として、2本目を後走で滑ることを認める。
ただし順位はつかない。

2. ビブ配布

2/7は16～17時まで、大会当日はジュニアにて6:45～7:45まで受付。以降はフィニッシュにて受付する。

※コンビは1～6組通し黒ビブ、SLは1～3組が赤ビブ、4～6組が黒ビブとする。

3. リフト券販売、運航

当日、6:45から旧第1 Gondola 1階チケット売り場で販売する。

競技役員は6:45から、選手は7:00から乗車可能。

4. アップバーン

特に設けません。各自コーチの指示により怪我のないようフリー滑走にて行うこと。

5. スタート順、スタート方法（タイムテーブル参照）

組順のスタートとし、2本目は各組15番リバースとする。

スタートは、スタート合図員の「レディー・ゴー」の合図により10秒以内にスタートすること。

インターバルは約30秒間隔とする。ジュリーの判断によりインターバルをあける場合もある。

6. ポールセット

- ・ **コンビ** SLセットは可倒式ポール、GSセットはフラグのついた可倒式ポール、状況によりショートポールを混在させる。また基本的にオープンゲート・ヘアピン・ストレートゲートはシングルポールとし、ディレイドターンのみダブルポールとする。ジャンプやウェーブゾーンについては、状況によりダブルポールとする場合がある。スケーティングゾーンを設ける場合もあり、ブルーラインにてコースマーキングを行う場合もある。

※ スキーについては、SL用か短めのGS用、またSL用のプロテクター類の着用を推奨します。

- ・ **S L** オープンはシングルポールとし、ストレートやヘアピンゲートはダブルポールとする。

7. コースインスペクション時間、方法（タイムテーブル参照）

ビブを着用の上、上からデラパージュで行うこと。30分間（入場制限なし）

8. コース整備

随時行い、コース状況によりレースを中断する場合がある。状況によりスノーセメントを使用する。

9. 途中棄権

途中棄権者は、近くの競技役員にはっきりと意思表示を行い、コース脇をゆっくり移動すること。

10. スイッチバック

コンビ、SL種目ともにゴールする意思がある場合は認める。ただし、次の滑走者に追い越された場合、危険と判断される場合や時間が掛かり過ぎる場合は、ジュリーや競技役員の判断で中止させる場合がある。※スイッチバックは「シングルポールスラローム競技」のルールを採用する。

11. ゼッケン回収

2本目のレース終了後は必ずフィニッシュエリアの回収袋に返却すること。また、あらかじめ棄権する場合は競技開始前にフィニッシュハウスに報告の上返却すること。途中棄権者のゼッケン回収にも注意すること。

12. 成績表、表彰式

仮発表タイムは、放送及びゴールエリアに掲示する。公式成績表はNPO雪石町スキー連盟のHPに当日午後3時までに掲示する。

表彰式は、競技終了後の15～20分後をめぐりにシュプールにて行う。

各組1位～6位までの選手は遅れないように集合すること。抽選会も予定しています。

13. その他の注意（補足）

- 1 スタート位置における点呼は10分前に行ないます。
また、スタート地点までの移動に注意してください。特に低学年。
- 2 スタート順番については、棄権者がある場合は繰り上げスタートするため、自分のスタート時間が早まる可能性があり得ますので十分注意してください。
- 3 スタートエリア、フィニッシュハウス内には監督、コーチの立ち入りを禁じます。
- 4 クラッシュヘルメットを必ず着用してください。ネックウォーマーの上からのあごひも不可。
- 5 サポーターについて、コース係の指示に従いコース整備を兼ねて降りてください。
- 6 フィニッシュエリア内では、一旦停止後スキーを脱がないですぐにエリア外に出てください。
- 7 競技時間を変更する場合、場内放送、館内放送等で随時連絡するのでご注意ください。
- 8 当日は一般営業もありますので、スピードの出しすぎには十分注意ください。
また、スタート・フィニッシュ地点へのごみの投げ捨てや、一般のお客様の迷惑になるような行為をしないようお願いします。
- 9 大会のスムーズな運営に関係各位の御協力を御願い申し上げます。

GS／SLコンビ競技について（ルールブック抜粋）

- ◎ チルドレンにおけるコンビは、国際的にも認知された連続する混合されたターンと旗門によって構成される種目である。各年齢グループに合わせ、その育成過程の必要要素、「流れるような」、または「リズミカルに」、そして「常に変化をもたらす」よう調合して創造する。
- ◎ SL／GS形式（技術系）セットはマーキングポール等、SL旗門、GS旗門、又はラインマーキングを使用する。
- ◎ SL／GS形式にはスラロームスキーの使用を推奨する。
- ◎ コースの性格と推奨事項
 - 最小方向転換数は30ターンとする。
 - 5つ以上の異なったセクションの推奨
 - スラロームスキーの推奨
 - コースは、様々なゲートセクション間のスムーズな移行を可能とするだけでなく、絶え間なく変わるリズムと半径に反応と適応する選手の能力を試すべきである。
 - 競技コースの建造はオプション、しかし、コースに十分な要素がある場合はその限りではない。コースの特性と想像力を活用する。
 - ジャンプを1箇所以上含む
 - 急激な減速やブレーキングを要する旗門はセットしない。
 - スロープ全体とコースの自然な流れを活用し、フォールラインを頻繁に交差する流れをもたせる。